

報 告 書

開催日時	平成 24 年 5 月 18 日(金) 午後 7 時～午後 8 時 20 分	
開催場所	下矢作コミュニティセンター	
出席議員	挨拶 藤倉 泰治	
	司会進行	佐竹 強
	報告者	清水 幸男
	記録者	菅原 悟(副班長)・菅野 定
	出席議員	上記のとおり
参加人数	19 名	
主 な 要 望・提言等	<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興計画が明確ではない(公営住宅・病院の建設予定地等)が、広報等で周知してほしい。 ・放射能測定器を貸し出ししているのか？ ・仮設住宅入居希望者がいるのに、倉庫代わりにしようしている方がいる。 ・ガレキを三陸道の資材として利用できないのか。 ・東京電力に農作物の放射能汚染被害の損害賠償を請求したいが。 ・市役所敷地に建設した車庫は不要ではないか。 ・5年以内の高台移転は可能なのか？ ・気仙町今泉地区の三陸道建設予定位置は？ ・高台移転予定地は狭いのではないか？ ・防潮堤建設における気仙川への影響は？ ・防災メモリアル公園誘致においては、歴史・文化を含めた内容の構想を願う。 ・大手ホテルチェーンの当市進出を断ったのはなぜか？ ・浸水地を買い上げて後の用途は？ ・自宅再生意向調査を行ったが、住民への回答は？ ・防潮堤の背後地利用計画を明確にすべき。 ・JR大船渡線全線復旧の見通しは？現在の進捗状況は？ ・JR復旧について署名活動等、議員も積極的に行動してほしい。 ・「議会だより」の内容を充実してほしい。 	
所 感	<p>清水 幸男</p> <p>震災復興の課題として、市民への情報の提供や住宅等自力再建の説明を求める声やJR大船渡線の運転再開を求める市民運動等、復興に寄せる活発な意見が伺えた。</p> <p>菅原 悟</p> <p>下矢作会場は約20人の参加。JR大船渡線の早期復旧に関する要望が出され、市議会としてもっと積極的に行動してほしい旨の提言があった。</p>	

また、国営防災メモリアル公園に関して、誘致においては歴史・文化を融合させるような公園となるよう構想してほしいとの提言があった。

佐竹 強

今回の報告会を開催する前から懸念していたことがあったが、はからずも的中してしまった。それは当市復興への速度への市民による心配の声が多数聞こえていたからにはほかならないことであり、一部には不満の声さえ聞こえ始めていたことである。

当陸前高田市議会では、決して手をこまねている訳ではないのであるが、議会への風当たりは予想していたものより強かったと言えるであろう。

この上は当局とさらに手を携えて復興への道筋が市民に容易に認識、理解できるように努力すべきであると思う。

地域によっては、参加者が少ないところもあったので、議会報告会のあり方を含め、参加を容易にすべく議員間で真剣に検討が必要と思う。

菅野 定

仮設に住んでいる方々が多く参加して、集団移転か自立再建か公営住宅へ行くかのアンケート調査の意見が出され、困惑した中でアンケートに記入しており、両方に○印をした方々がいることで問題の複雑さを感じました。防災集団移転の協議会も迷いながら進んでいる実態を感じ、私たち議員がお手伝いしなければと思いました。

陸前高田市議会議長 殿

平成24年5月31日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成24年度議会報告会第3班

班長 藤倉 泰治 ㊟